

「はやぶさ2」がトリフネフライバイ



天空が広がるうぶやまの高原には、爽やかな夏風が吹き始めました。梅雨末期で、天候が不順でくっきり晴れた星空は望めませんが、もうこの頃には梅雨が明けていることに期待しましょう。

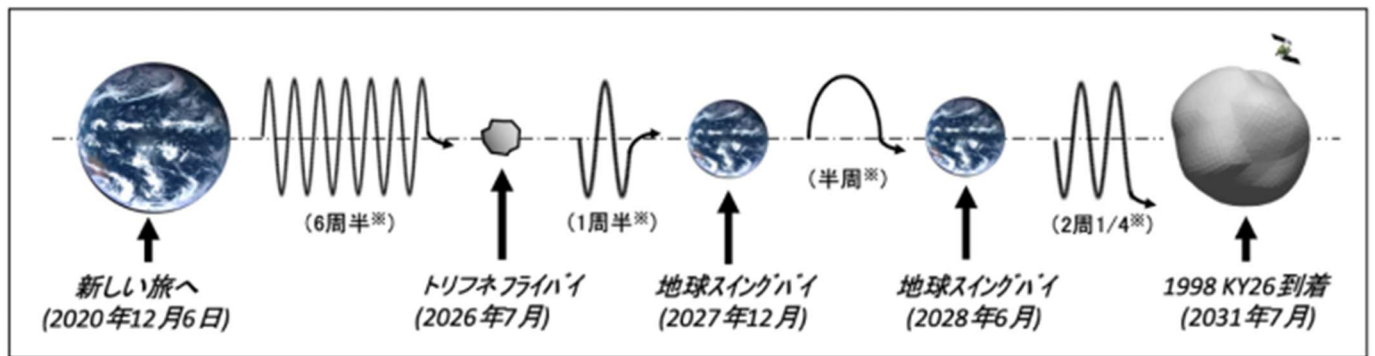
指導員コラム(天体情報・見どころ)

7月の星空情報の第1弾は7月5日(日)に産山村と交流のある「はやぶさ2」が小惑星トリフネを高速でフライバイするという情報です。

小惑星探査機「はやぶさ2」は、うぶやま天文台が完成した時に、「はやぶさ2」のプロジェクトマネージャーだった JAXA の津田雄一先生が子どもたちに「星のかけらを求めて」と題して記念講演をして頂きました。それ以来、交流が続いています。2020年12月に小惑星リュウグウのサンプルを地球に届けた後も、拡張ミッションに挑戦しています。今回のターゲットは直径600mほどの小惑星トリフネです。地球に接近する特異な軌道(アポロ型)を持っています。「はやぶさ2」はいよいよトリフネをフライバイ探査します。「はやぶさ2」は秒速5kmの高速で飛行しており、トリフネを探査するのはほんの数分という一瞬のチャンスです。この探査は、地球に衝突する危険のある天体をフライバイ探査する技術を獲得することが主な目的となっています。無事に探査に成功し、小惑星トリフネの姿が明らかになることに期待したい。「はやぶさ2」はこの後、最後のミッションとして2031年に到着予定の小惑星1998KY26へ]向かう予定です。



小惑星トリフネをフライバイする「はやぶさ2」(想像図)



※太陽の周りの周回数

現在 JAXA ではトリフネフライバイを記念して2つのキャンペーンが行われています。1. トリフネ想像キャンペーン 2. トリフネをVRで見よう
これらは JAXA のHP で見るすることができます。

クレジット 2026 JAXA